

2025 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ソラスト
代表者名 代表取締役社長 CEO 野田 亨
(コード番号 6197 東証プライム)
問合わせ先 管理本部長 横田 諭
(TEL. 03-6890-8904)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 実効性評価の方法

取締役会の実効性に関する質問票をすべての取締役及び監査役に配付し、回答を得ました。この結果に基づいて、コーポレート・ガバナンス委員会(以下「CG 委員会」)及び取締役会において取締役会の実効性に関する分析及び検証を行い、今後の課題等について建設的な議論を行いました。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 対象者 | 全取締役及び監査役 合計 10 名 |
| (2) 方法 | Web アンケート調査(無記名式) |
| (3) 実施期間 | 2025 年 1 月 |
| (4) 回答方法 | 5 段階評価+フリーコメント |
| (5) 評価項目(概要) | ① 取締役会の構成
② 取締役会の運営
③ 取締役会の文化
④ 取締役会による監督・ガバナンス
⑤ 経営戦略に関する議論等 |

2. 実効性評価の結果の概要

当社取締役会は、構成・運営状況等において、経営上重要な意思決定や業務執行の監督を行うための体制が構築されていることを確認しました。また、多様な経験や専門性をもつ社外役員を含めて活発な議論が行われていることを確認しました。

一方、取締役会の実効性の更なる向上に向けての提言があり、当社グループのあるべきコーポレート・ガバナンスについて CG 委員会及び取締役会において議論した結果、以下の取り組みを推進することを確認しました。

更なる実効性向上に向けての重要課題	今後の取り組み
中長期的な成長戦略を見据えた次期経営者の育成	取締役・執行役員に必要なスキルセットの再定義と次期経営者候補の継続的な育成
事業ポートフォリオの最適化に向け、取締役会における更なる議論の充実が必要	取締役会における事業ポートフォリオ最適化を目的とした議論の機会の拡充

これらの取り組みの推進等により、引き続き、取締役会の実効性向上、コーポレート・ガバナンスの強化に努めてまいります。

3. (ご参考) 前回評価結果に対する取り組み

前回評価(2024年1月)結果及びその後の議論では、「取締役会の事業リスクに対するモニタリングの実効性向上」と「次世代経営者候補の継続的な育成」が重要課題であることが認識されました。

この評価結果を踏まえ、当社では以下の取り組みを行っています。

- 取締役会における業務執行状況報告の拡充
 - 各事業の執行状況報告における事業上のリスク・機会に係る情報供給の拡充により、取締役会における各事業の戦略に関する議論の精緻化を実施
 - 執行会議体である経営会議の議論状況として、意思決定に至る議論の経過を含む詳細を報告することで、取締役会による業務執行状況のモニタリングを強化
- 次期経営者候補育成プロセスの深化と取締役会による評価の実施
 - 社外役員と部長層との面談等による客観的な評価に加え、部長層を対象とし、経営塾の開催による経営的視座の涵養、経営課題を討議する会議を新たに開催し、育成プロセスの実効性を向上
 - CG委員会において、客観的な視点から育成プロセスの実行状況及び妥当性を確認

以上